

研究課題名	HBV 持続感染者における HBe 抗原・HBe 抗体力価変化の解析
研究責任者名	医系科学研究科 消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2019年5月29日～ 2024年3月31日
対象者	承認日～2020年3月31日の間に広島大学病院に通院歴のあるHBs抗原陽性のB型肝炎ウイルス持続感染者のうち、本研究に同意の得られた患者さん
意義・目的	日本肝臓学会はB型肝炎治療ガイドラインにおいて、治療の短期目標を血中HBV DNA陰性化、ALT正常化、HBe抗原陰性化としています。多くの場合、HBe抗原量の変化は、生体内の免疫応答とともに生じ、HBeセロコンバージョン（HBe抗原陰性化し、HBe抗体が出現する）とともに肝炎は鎮静化しますが、HBe抗原の機能や動態に関する研究は乏しく、不明な点が多いです。そこで、本研究では、HBe抗原・HBe抗体の変化に着目し、HBeセロコンバージョンが生じる前後でのB型肝炎ウイルスマーカーや臨床データを数理的なモデリングを用いて解析し、HBeセロコンバージョンの病態解析につなげたいと考えております。
方法	<p>診療の際に測定したB型肝炎ウイルスマーカーを含めた血液検査データや臨床データをカルテから抽出し、共同研究先である米国の Loyola University Chicago Medical Center および Virginia Tech に送付します。但し、一部の診療情報（HBe抗原）に関しては、現在当院で保存している血液約100μLをAbbott社に送付し、測定して頂き、その測定結果を研究に使用します。Loyola University Chicago Medical Center および Virginia Tech では、当院から送付したデータを用いて、数理的な解析を行います。</p> <p>カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（血液一般検査、血液生化学検査、HBV関連マーカー）、腹部超音波検査、肝組織所見です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	Loyola University Chicago Medical Center および Virginia Tech に情報を集め解析します。
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞1-2-3</p> <p>Te l : 082-257-1728</p> <p>広島大学自然科学研究支援開発センター 助教 柘植雅貴</p>